

大阪・関西万博開催に向けた御意見

御所属 神戸商工会議所 会頭, シスメックス株式会社 代表取締役会長兼社長 CEO
御名前 家次 恒 様

1. 2025年の大阪・関西万博に何を期待しますか。

(是非すべきこと、また、するべきではないこと、後世に残すべきもの等)

- 超高齢社会の克服、グローバルヘルスの課題解決に向けた貢献
日本が世界のロールモデルとなることを期待
 - ・日本の最大の特徴は、世界に先駆け、超高齢社会に突入していること。
 - ・ある意味、医療が進歩した結果とも言えるが、今後、医療のレベルが高まるにつれ、増大していく医療費をどう抑えていくかが深刻な課題になる。
 - ・いかに、コストを下げながら、健康寿命を延ばしていけるか。未来社会に適応した医療制度や先制医療のあり方をデザインする必要がある。2025年万博がその契機となり、日本が、世界のロールモデルとなることを期待している。
 - ・一方、グローバルヘルス（地球規模の健康課題）の観点で見ると、感染症など命に危険が及ぶ病気や、人口が増大する発展途上国の課題に、どの様に貢献できるかも大切。
 - ・万博において、先進国、発展途上国それぞれの課題に、日本がどう貢献できるかの絵姿を示していく必要がある。
- 2025年の先を見据えたイノベーション創出、若手クリエイターの参画を期待
 - ・今は、イノベーションのスピードが速く、先が読めない時代。特に、サイエンスの世界は難しい。しかし、現在を起点に2025年を考えるのはいけない。2025年から見て、その先の2030年、2040年がどうなるかを意識した万博であるべき。そのためには、国内外の若手のクリエイターやサイエンティストの参画を大いに期待している。

2. 大阪・関西万博で見せるべきコンテンツは何でしょうか。

(例：最先端技術の実証、SDGs 達成への貢献、ライフサイエンス分野との連携等)

- 次世代産業と最新のテクノロジーの融合
 - ・万博は、産業界にとっても、世界にアピールする絶好の機会。
 - ・関西には、健康医療や環境分野など「いのち輝く未来社会のデザイン」と密接に関連した産業が集積している。特に、神戸においては、医療産業都市や、水素、ロボットなど次世代産業の集積が進展しており、万博による社会課題解決やイノベーション創出に大きなシナジーを発揮できる。
 - ・例えば、5Gによる高速通信のネットワーク社会が進めば、コストを下げ、安全で優れたサービスを提供することが可能になる。自動運転の実用化や臨場感あるVR体験もさることながら、遠隔の医療が可能になる。外科医が、遠隔で診療したり、ロボットや人工知能を駆使した手術もできる。

- ・また、ゲノムや再生医療の分野も進む。ゲノムをはじめ、人間の医療データをヒストリー化したビッグデータを個人が持つ時代になる。そうになると、病気を未然に防ぐ先制医療や、個人に最適な治療法を適用する個別化医療がより普及していく。
 - 未来のテクノロジーやサイエンスを実際に体感できるコンテンツ
 - ・万博には、こうした未来のテクノロジーやサイエンスを実際に体感できるコンテンツを期待したい。コンテンツというと、モノや技術の展示に捉われがちだが、21世紀型の万博として、五感で体感できる新たな見せ方、あるいは、参加型とともにソリューションを生み出すような新たな仕掛け、いわばオープンイノベーションの視点を期待したい。
 - ・また、万博は、広くオープンに多様な人々が参加するもの。健康医療や環境分野は、とすれば学術的で、難しく解説されがちなので、利用者（参加者）目線に立った、エンターテインメント性をもった見せ方も意識する必要がある。
- 3. 会場計画及びインフラ整備について、新たなアイデアや御意見をお願いします。**
(例：会場のデザイン、水面や緑地の利活用、待ち時間のない万博とするための手法、災害対策、暑さ対策等)
- スパコンによるビッグデータ解析
 - ・万博には約 2,800 万人の来場者、約 80 億人のバーチャルでのアクセスが見込まれる。来場者やアクセスする人の動態、あるいは健康状態まで解析する新たな仕組みがほしい。
 - ・神戸のスパコン（ポスト京）は、シミュレーションに加え、AI やビッグデータ解析の基盤としての利活用が期待される。2025 年万博を支えるファシリティとして活用できれば面白い。
 - 会場までの陸・海・空のアクセス強化
 - ・会場の夢洲は、神戸から近い。利用者（参加者）目線に立ち、また、災害対策、BCP の観点からも、陸海空のアクセスを強化する必要がある。
 - ・関空を補完する意味での、神戸空港の国際便就航、また大阪湾岸道路西伸部の六甲アイランドからポートアイランドの部分開通を 2025 年までに求めたい。あわせて関空、神戸、淡路島と夢洲を結ぶ海上アクセスの確保も期待したい。
- 4. そのほか、御自由に御意見をお願いします。**
- ・イノベーション、サイエンスの進化のスピードは速く、2025 年に、どこまで進展しているか予測が難しいが、常に、その先の未来を見据えて準備をしておかねばならない。
 - ・21 世紀型万博のモデルは、いまだ確立されてはいない。SDGs のみに捉われすぎると、どの万博も同じようになってしまう。会期中に生み出されるコンテンツだけでなく、民間投資を呼び込む新たなアイデアなど開催手法そのものもレガシーになり得る。2025 年万博が、新時代の万博開催の新たなモデルを打ち出すことを強く期待する。